

校長室より～「山吹の風」 No.13 R5.7.11～

夏の季語の一つに「涼し」という語があります。夏の暑さの中にあってこそ感じられる涼気を指します。昨日のひたちなか市民球場、2階スタンド席にいて、海からの風のせい、もしくは応援団のかけるミストのおかげか、時折「涼し」という季語が浮かびました。

(飯田龍太の「どの子にも涼しく風の吹く日かな」という作品があります。)

しかし、眼下のグラウンドでは炎暑、溽暑(じょくしょ)の苛烈な状況の中、試合が行われました。

結果は勝利とはいきませんでした、その戦う姿から多くのことを学びました。

最後まであきらめない
最後まで逃げ出さない
最後まで挑戦し続ける

多くの大切なことを気づかせてくれた野球部員、一生懸命応援していた皆さんを誇りに思います。大変お疲れ様でした。



炎帝や「真剣勝負」ここにあり 幸恵

